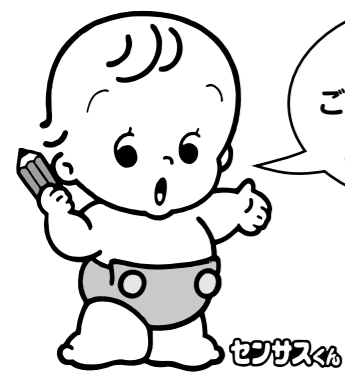


	平成22年 国勢調査 (今回)	平成17年 国勢調査 (前回)	増減数	増減率
人口総数	33,183人	33,545人	△362人	△1.1%
人口男	16,241人	16,387人	△146人	△0.9%
人口女	16,942人	17,158人	△216人	△1.3%
世帯数	12,581世帯	12,058世帯	523世帯	4.3%



国勢調査へのご協力ありがとうございました。

この調査にあたり、ご協力いただきました住民の皆さま、調査員・指導員の皆さまに心からお礼申し上げます。

※人口等基本集計は、審査を終了したすべての調査票を集計していますが、先に公表されています人口速報集計は、播磨町において審査を終了する前の調査票から世帯員の数を転記した調査書類を基に集計しています。

したがって、集計に用いるデータが異なるため、結果数値に乖離があることがあります。

平成22年国勢調査 人口等基本集計結果ができました

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

平成22年10月1日現在で実施した「平成22年国勢調査」の人口等基本集計結果が公表されました。結果は次の通りです。

政府統計の 統一ロゴタイプが 決まりました



政府統計

個人情報保護意識の高まりなどにより、統計調査を取り巻く環境が厳しさを増す中、国民の皆さまが統計調査に安心して回答できる環境の整備が必要になっています。

このような情勢の中で、総務省は、10月18日の「統計の日」に「政府統計の統一ロゴタイプ」を決定しました。

このロゴタイプは、2012年4月1日以降に実施される国の統計調査の調査票などに表示され、①国の統計調査であること、②秘密の保持に万全を期していることを証明するマークです。このロゴタイプが付された統計調査へのご協力をお願いします。

▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

平成24年2月1日現在で 経済センサス-活動調査を実施します

平成24年2月1日現在で実施する経済センサス-活動調査は、全ての企業・事業所を対象に、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査で、「経済の国勢調査」と言えるものです。

- 調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます
- 支社などのない事業所などには、調査員が直接伺い、調査票を配布、回収します
- 支社などを有する企業には、国及び兵庫県が民間事業者を通じて本社などに調査票を郵送し、インターネットまたは郵送で回答していただきます
- 調査票は、平成24年1月末日までにお届けしますので、2月1日以降に提出してください

- ◆この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- ◆提出された内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。

調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

平成24年 経済センサス 活動調査

平成24年2月1日(水) 平成24年経済センサス-活動調査

総務省・経済産業省・兵庫県・播磨町 経済センサス 検索

経済センサス-活動調査については、キャンペーンサイトをご覧ください。
http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm
▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

播磨町 バリアフリー・ ニュースレター

vol.2 歩いて発見！話して納得！ 駅や道路のバリア調査

～播磨町駅周辺のタウン・ウォッチングを開催～

播磨町バリアフリー基本構想策定協議会は9月29日、「播磨町バリアフリー基本構想」策定に向け、実際にどのような移動のバリアがあるのかを調査するため、住民、障がいのある方など約20人に集まっていただき、タウン・ウォッチングを開催しました。参加者は3つのグループにわかれ、駅、道路、施設などを移動しながら調査し、たくさんのバリアを見つけました。調査の後の意見交換ワークショップでも熱心な議論が行われました。当日記録したバリアの一部は下記の通りです。

駅グループ



トイレは車いすでは
利用できません!!



急なスロープ
車いすを押して移動するのは
大変

役場周辺グループ



役場北側の公園内の
急なスロープ



役場玄関前
の点字ブロック
弱視の人には
見えません

しあわせセンターグループ



歩道があっても
凸凹したり、傾いていたり
問題がたくさんありました



自転車で
歩道が利用できません



グループで、調査結果について
話し合いました



意見を地図や模造紙にまとめて
みんなに結果を報告しました

参加者の感想(抜粋)

- 実際に町を回ってみて普段気付かないようなバリアに気付くことができた。このような機会を多く持ってほしい
- 多くの人の目で一つずつ確認しながらじっくり歩くと、小さな障害に気付くことができた

ご協力ありがとうございました。
播磨町バリアフリー基本構想策定協議会では、いただいた意見をもとに検討を進めてまいります。



播磨町バリアフリー基本構想策定協議会

▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356
Email⇒kikaku@town.harima.lg.jp